



北村 あや子 区政ニュース

三河島駅前北地区と西日暮里駅前地区の再開発は大丈夫？

工事完了は三河島が2030年・西日暮里2031年を予定していますが、傾斜することはないか心配です。いま、建築費の高騰、人件費の値上げと技能労働者の不足などによって、全国で再開発や公共施設建設の変更・延期・中止が相次いでいます。

三河島、西日暮里で補助金は650億円！

三河島駅北地区再開発

	2023年2月事業計画	2024年12月事業計画
総事業費	457億円	639億円
補助金	146億円	211億円
保留床処分金	311億円	428億円

西日暮里駅前再開発

	2021年事業計画	2024年2月事業計画
総事業費	955億円	1,342億円
補助金・区負担金	240億円	438億円
保留床処分金	715億円	904億円

荒川区の2つの駅前再開発では西日暮里駅前が当初計画から総事業費で1.4倍、**税金投入も2倍近く**に。三河島駅前は事業費、税とも1.4倍に膨れ上がっています。合わせて**650億円という莫大な税金を投入**。総事業費が今後も上昇すれば、補助金(税金投入)はさらに増えることに…

もともと住んでいた方の権利は守られるのか 2つの再開発地域の権利者は477です。完成のマンションは、1億円以上？具体的なことは事業が本格的に進んでからの個別提示になる仕組みです。権利変換で完成マンションに転居出来るか？固定資産税や管理費修繕積立金の新たな負担が

今後の生活設計に及ぼす影響は？借家人の住まいの確保は？

区は再開発で「担税力のある方に来てもらう」などと答弁。これまで街を支えてきた人々のことを真剣に考えているのか問われます。

安心して住み続けられる荒川区に 再開発参加事業者(西日暮里:東急不動産)(三河島:三井不動産レジデンシャル、野村不動産、三菱地所レジデンス)はマンション販売で利益を得れば終わり。東京各地の再開発でマンション価格が高騰し、家賃も上昇しています。自治体の住宅政策は公的住宅・倒れない逃げない防災まちづくりが中心で、庶民が住み続けられる街づくりではないでしょうか。

建築費、人件費の高騰で

次々と再開発が変更・延期・中止に！

△新宿駅南口再開発→施工会社が決まらないため、当初2028年度を予定していた完成時期が「未定」となり、着工も出来ず。

△池袋駅西口再開発→建設資材の高騰と人手不足により、2027年予定だった着工が2030年へ3年延期。

△津田沼駅前再開発→建設費の高騰、施工業者が決まらないことを理由に、2025年5月に中断が発表。

△中野サンプラザ跡地再開発→建設費の高騰を受け、事業者から示された計画見直し案が区は受け入れられず、現在の枠組みでの再開発を断念。

△足立区六町駅前再開発→高島屋子会社の東神開発が、工事費高騰と採算悪化により撤退を申し出た。

	権利者	借家人
三河島北	68名(うち借地16)	30名
西日暮里	79名(うち借地45)	300名



再開発には区有地利用・・・荒川区には土地がない??? 9月19日から10月3日までの7日間開催された2024年度決算特別委員会で熱中症対策として、子どもの室内遊技場設置の要望が出され、西日暮里駅前再開発の中に出来ないかとの意見も出されました。

再開発地域には学校・保育園・高齢者施設がありました。区民の貴重な財産、区有地を再開発に活用する一方で「荒川区には土地がない」という議論は如何なものでしょうか。学校建替え代替校舎用地確保も大変な状況です。

西日暮里	道灌山中跡地	4,270㎡
	ひぐらし保育園	940㎡
	通所サービスセンター	250㎡
三河島	真土小跡地	3,600㎡

遊園スポーツハウスリニューアル工事で休館中

あらかわ遊園スポーツハウスは今年からリニューアル工事のため休館しています。これまで通っていた方々には南千住のスポーツセンターをご利用いただくなど、ご不便をおかけしています。

工事は今のところ順調に進んでいるようですが・・・。

スポセンの水泳教室キャンセル待ち700人！

公の子ども向け水泳教室は南千住のスポーツセンターで実施されています。今年8月時点でキャンセル待ち700人(!)とのこと。去年は450人のキャンセル待ちだったので、250人も増えてしまいました。



すべてがスポーツハウス休館の影響とは言い切れませんが、

大きく影響したことは確かです。荒川区は水泳教室の実施時間を工夫するなどして、コマ数を増やす方向で検討しています。

大人向けの託児付きヨガ教室も人気で、今年8月時点で19名の方がキャンセル待ちとのことでした。



スポーツの秋、芸術の秋。子どもも大人も、どなたもが気軽に体を動かせるよう、芸術に触れられるよう、引き続き環境整備すすめるよう、区に求めていると思います。

みなさんのご意見ご要望をお聞かせください。

街の声 ☆☆☆ OTC 類似薬とは？ ☆☆☆

＊「OTC 類似薬の保険外し」が話題になっていますが、そもそも OTC 類似薬とは何ですか？

OTC とは「Over the Counter」の略。OTC 薬とはカウンター越しに変える薬という意味で、医師の処方箋は必要なく全額自費負担のお薬です。



OTC 類似薬とは OTC 医薬品と似た効能で医師の処方箋が必要な薬です。健康保険が適用されれば国が決める薬価の1～3割負担で入手できます。

例えば解熱鎮痛薬「ロキソプロフェン」。医療保険自己負担と市販薬の価格差は**37.4倍**！

同じ効能があるからドラッグストアで買った方がいいという話ではありません。

日本医師会も医療機関の受診控えによる健康被害、経済的負担の増加、薬の適正使用が難しくなることを懸念しています。国民皆保険制度の理念は堅持すべきとも。

自民・公明・維新が“現役世代負担減”を口実に「OTC 類似薬の保険外し」を推進していますが、世代間に分断を持ち込み、自己責任を当然とするやりかたです。アトピーや花粉症、難病で苦しむ人は現役世代にもたくさんいます。どの世代にとっても生死にかかわる問題です。ご意見をお寄せください。

OTC 類似薬が保険外になると 価格は約70倍にも	薬の種類 (有効成分)	医療保険自己負担と 市販薬価格の差
	去痰(たん)剤 (カルボシステイン)	73.9倍
	抗炎症解熱鎮痛薬 (ロキソプロフェン)	37.4倍
	抗ヒスタミン薬・ アレルギー性疾患治療剤 (フェキソフェナジン)	30.2倍
	保湿剤 (ヘパリン類似物質)	13.7倍
	制酸・緩下剤 (酸化マグネシウム)	7.8倍

(市販薬価格・薬剤費の医療保険自己負担)

しんぶん赤旗日曜版 2025 年 10 月 12 日号より



日時: **11 月 21 日(金)** 18:30~20:00 会場: **北村あや子事務所**
TEL&FAX: 03-3894-6668 要予約 ☆☆ 生活相談はいつでもどうぞ ☆☆